

公開パネル討論「今やる、放射線教育Ⅱ」

— 支援ネットワーク構築へ向けて —

【開催趣旨】

昨年 2013 年 7 月 5 日にパネル討論「北から南から福島を踏まえた放射線教育の全国展開」を開催し、翌 2014 年 7 月 9 日に「全国展開パートⅡ」を開催した。

また、2013 年 11 月 10 日には、「今やる、放射線教育 — 支援ネットワーク構築に向けて —」を開催した。これまでのパネル討論では、小学校から高等学校の放射線教育においては、放射線を正確に理解するためには、その性質を知ることは無論、人の健康への影響と防護、さらには放射線が人間生活のために利用されていること、つまり、メリットとデメリットの相互を理解し、総合的に判断していく力を育成することの重要性が示されてきた。

今回のパネル討論「今やる、放射線教育Ⅱ」では、放射線の利用の現状と可能性をメインテーマにメリットの面から学校現場の先生と専門家が一緒になって今後の教育のあり方を議論し、提言することを主要な目的とする。

【開催概要】

日 時：2014 年 11 月 16 日（日）13:00～17:00

会 場：東京慈恵会医科大学高木 2 号館南講堂（東京都港区西新橋 3-25-8）

交 通：都営地下鉄三田線の御成門駅から徒歩 5 分

募集人数：100 名

対象者：教育関係者、専門家及び一般

参加費：無料 資料代として 1,000 円 懇親会参加費：1,500 円

主 催：NPO 法人放射線教育フォーラム

共 催：東京慈恵会医科大学 アイソトープ実験研究施設

【プログラム】

13:00～13:10 開会挨拶

13:10～14:40 実践報告（5 名、90 分）

1. 児玉 剛明 先生 福島県郡山市立郡山第四中学校(元理科教諭)
「郡山市における放射線遮蔽効果の授業の取り組み」
2. 嶋田 武弘 先生 鳥取県倉吉市立東中学校
「三朝温泉水を用いた放射線教育の実践事例」
3. 小鍛治 優 先生 福井県永平寺町立吉野小学校
「大学・企業等との連携による放射線教育 —放射線利用の授業実践—」
4. 佐々木 敏紘 先生 宮城県仙台市立西山中学校
「中学校理科における放射線を扱う学習機会の可能性に関する検討」
5. 佐藤 深 先生 北海道札幌市立北栄中学校
「授業の実践と今後の可能性 —中学校理科における放射線の学習を通して—」

座長：宮川 俊晴（放射線教育フォーラム/日本原燃）

（休憩 10 分）

14:50～15:40 講演 (50分)

小林 泰彦 (独)日本原子力研究開発機構 高崎量子応用研究所
「生活に根ざした放射線教育の出発点は？」

(休憩 10分)

15:50～17:00 パネル討論 (70分) 実践報告者、講演者及び会場からの発言者を交えての
パネル討論

コーディネータ：高島 勇二 先生 (エネルギー・環境理科教育推進研究所)

17:00 閉会

17:30～19:00 懇親会 東京慈恵会医科大学高木2号館南講堂前

次のフォーマットを利用して11月11日(火)までに申し込みください。

宛先 : NPO 法人放射線教育フォーラム

申し込み先：メール forum@ref.or.jp

ファクス 03-3843-1080

郵送 〒110-0015 東京都台東区東上野6-7-2 萬栄ビル2階

電話 03-3843-1070

私は公開パネル討論「今やる、放射線教育Ⅱ」(11月16(日))に参加を希望します。

● 氏名 (ふりかな：)

1. 公開パネル討論に参加 します。 しません。
2. 懇親会に参加 します。 しません。

● 会員、非会員の種別 放射線教育フォーラム会員 同 非会員

● 連絡先

住所 〒

電話番号 または ファクス番号

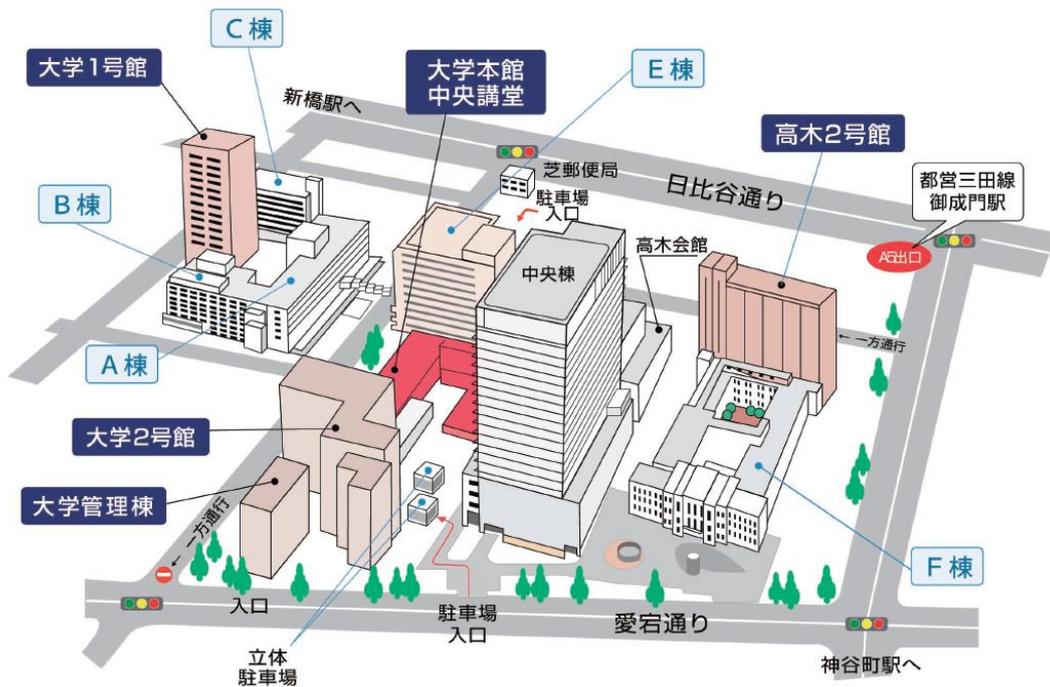
メールアドレス

● ご所属 (元職も可) :

会場 東京慈恵会医科大学附属病院（本院）高木2号館南講堂
 問合せ先：電話 03-3433-1111



会場案内図 東京慈恵会医科大学 高木2号館



会場案内図 東京慈恵会医科大学 高木2号館南講堂

